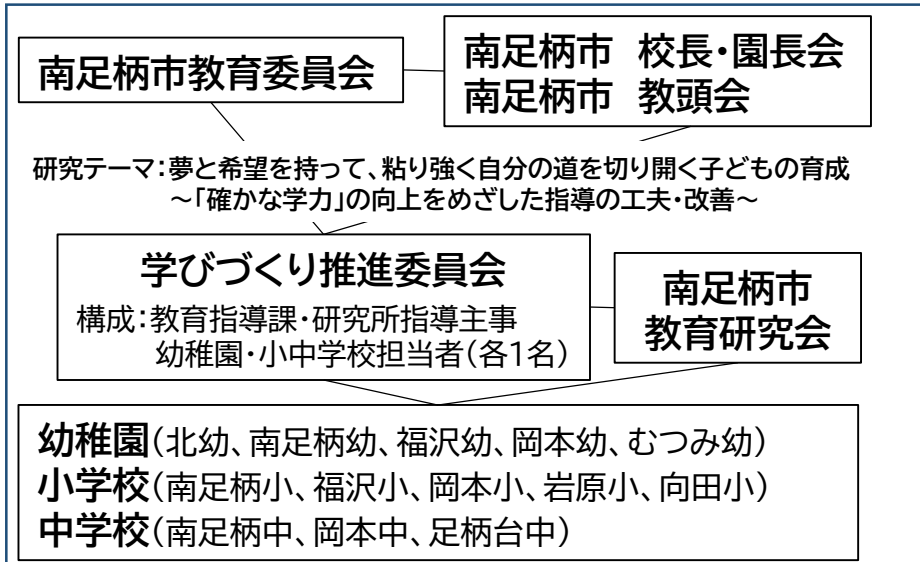




研究組織等

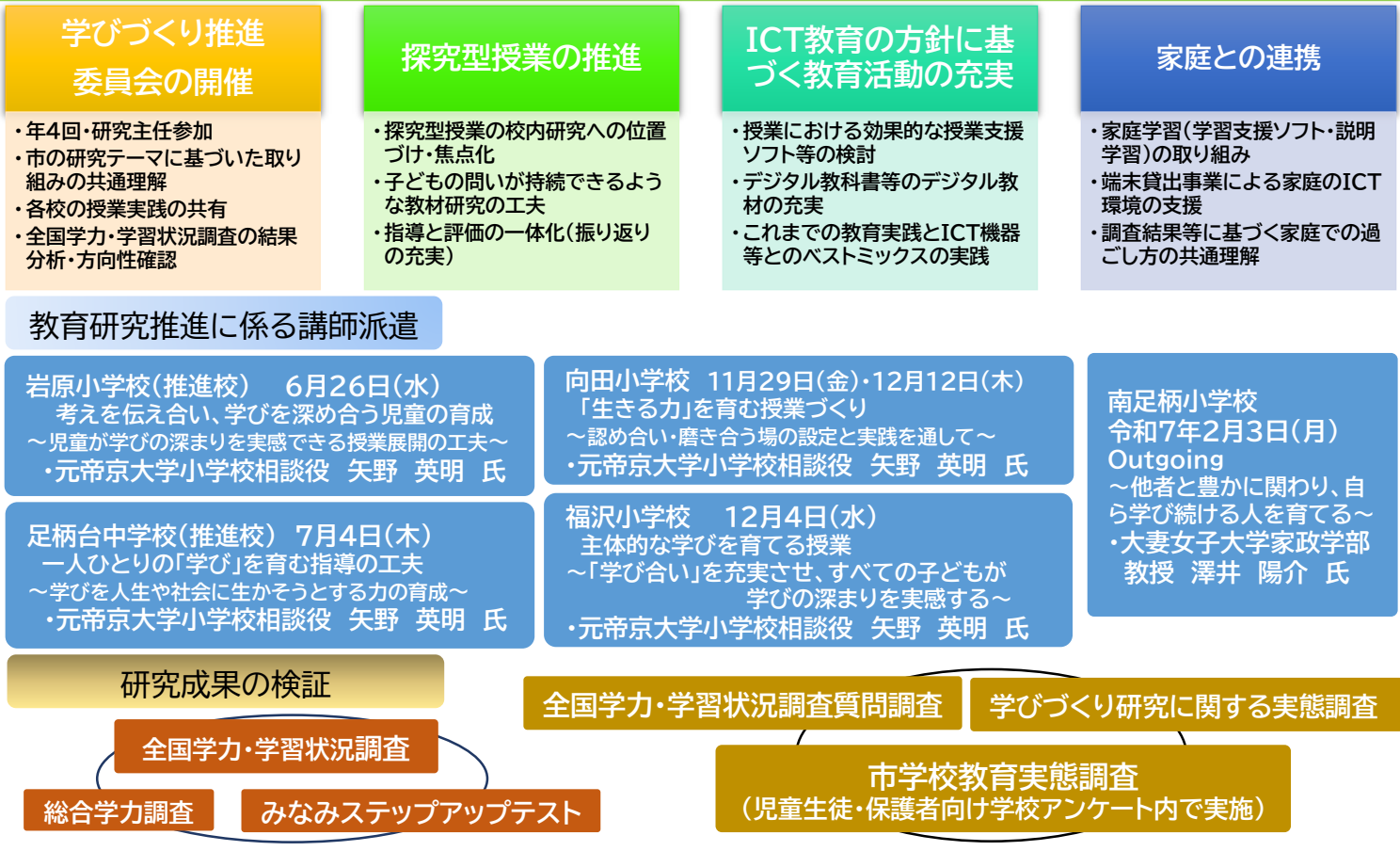


南足柄市立学校教職員研究発表大会(11月7日開催)

【講演】
「いま求められる資質・能力のさらなる育成をめざす
～ウェルビーイングに着目した授業改善をとおして～」
横浜国立大学教育学部 教授 梅澤 秋久 氏
【推進校による実践発表】

推進校名	研究テーマ
岩原小学校	考えを伝え合い、学びを深め合う児童の育成 ～児童が学びの深まりを実感できる授業展開の工夫～
足柄台中学校	一人ひとりの「学び」を育む指導の工夫 ～学びを人生や社会に生かそうとする力の育成～

児童生徒一人ひとりの「学びに向かう力」の醸成



成果と課題

全国学力・学習状況調査質問調査や12月に実施した学びづくり研究に関する実態調査から、課題の解決にむけて自分で考え自分から取り組もうとする姿勢(学びに向かう力)の向上が見られた。探究型授業の実践やICT機器の効果的な活用等、教員による授業改善に向けた取り組みの成果であると考えられる。

一方、全国学力・学習状況調査等の結果から、「目的に応じて、自分の考えを書く力」に課題が見られた。自分の考えや思いを伝え合う、そして、文章等でまとめるといった表現活動を丁寧に行っていく必要がある。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進に向け、探究的な学びの在り方について見直し、本市の児童生徒一人ひとりが主体的に学ぶ姿を追求していく。